

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッション総合科		2020年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択 B	テキスタイル(織物)	実習 実技	馬場 美和子	1

授業の到達目標	手織り機の機ごしらえと操作ができる。 製織することで布の成り立ちを理解する。 織った布を身につけたり服飾小物を仕立てることで手織りの楽しさを体験する。
---------	---

授業の内容	手織り機を使って織物の基本である織物三原組織、平織、斜文織、朱子織を織ることでテキスタイルデザインの基礎的な理論と技術を学ぶ。 チェック柄をデザインし、織ることで織物の特徴である色彩混合を学び、織物設計ができる技術を身につける。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	布の種類と織物の諸技法のガイダンス
2	基礎制作:三原組織 平織、斜文織、朱子織のティーマットを織る。2色の色系を選び、整経する。
3	基礎制作:三原組織 機ごしらえ(箆通し、綜統通し、織つけ)
4	基礎制作:三原組織 製織する。
5	基礎制作:三原組織 製織する。
6	基礎制作:三原組織 製織を終わらせる。フサの始末と布の整理(仕上げ)をする。
7	応用制作:色彩混合 チェック柄をデザインし、服飾雑貨を制作する。 彩色して色のイメージを考える。
8	応用制作:色彩混合 糸を選ぶ。織物設計表を作成する。
9	応用制作:色彩混合 整経をする。
10	応用制作:色彩混合 機ごしらえする。
11	応用制作:色彩混合 製織する。
12	応用制作:色彩混合 製織する。
13	応用制作:色彩混合 製織を終わらせる。布の始末をし、バッグ、ポーチなど服飾小物に仕立てる。
14	応用制作:色彩混合 縫製する。
15	合評会 基礎・応用制作を発表し、意見交換する。

成績評価の方法	期末提出物、平常点・授業姿勢
---------	----------------

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)	公益社団法人 日本クラフトデザイン協会会員
----------------------	-----------------------

授業初日持ち物 ハサミ、メジャー、筆記用具、A4クリアファイル10ポケット 材料費¥2000-(系代 他実費)	学校で準備する教材など
---	-------------

配布資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッション総合科		2020年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択 B	帽子	実習 実技	児玉 政子	1
授業の到達目標	様々な素材やパーツの組み合わせ方など、製作を通して帽子の構造を学ぶ。布を使用してブリムのある帽子、フェルトの帽体で木型を使用して帽子の形作りを学ぶ。			
授業の内容	布を使用してブリムのある帽子を制作する。 フェルトの帽体で木型を使用して帽子の形作り、蒸気によるブリムの成形で制作する。			
回	授業計画 及び 学習の内容			
1	帽子の歴史、種類、素材、用具について 布帽子パターン、採寸、各自パターン作成			
2	布帽子制作(2枚接ぎ)			
3				
4				
5				
6				
7				
8	▼ 布帽子提出			
9	フェルト帽子製作			
10				
11				
12				
13				
14				
15	▼ フェルト帽子提出			
成績評価の方法				
作品、実習態度、出席状況(木型を使用する為、学校で実習)				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
授業初日持ち物		学校で準備する教材など		
製図用紙、ルーラー一式、メジャー、 洋裁用具、A4クリアファイル、		特になし		
配付資料				
プリント配布				

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッション総合科		2020年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択 B	基礎英会話	講義	宇治田 紀子	2

授業の到達目標	日本を訪れる外国人旅行者に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を学ぶことを目標としています。
---------	---

授業の内容	外国人を接客する際に必要な語彙や日本食、伝統文化に関する説明から宿泊施設、観光地などの案内を英語でどのように言えば良いのか、基本的な表現を使って伝える練習を行います。接客英会話の入門という位置づけで、普段使う英語とは少し違う会話を勉強して行きます。従って最初は少し戸惑うかもしれませんが、今度自分たちが旅行者となった場合にも役立つことができますし、普段の生活をする上でも使える表現が沢山出てきます。決して簡単ではないかもしれませんが、基礎的な英語を重視して授業を行います。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	Unit 1 Transportation (交通案内)
2	Unit 2 At a Check-in Counter (ホテルでのチェックイン)
3	Unit 3 Facilities and Services (ホテル内の施設やサービス案内)
4	Unit 4 Giving Directions (街歩きのための道案内)
5	Unit 5 Recommending a Trip (観光スポットを薦める)
6	Unit 6 Dining in Japan 1 (日本食の紹介1)
7	Unit 7 Dining in Japan 2 (日本食の紹介2)
8	Unit 8 Arranging a Tour (国内旅行の手配)
9	Unit 9 Staying at a Ryokan (旅館について)
10	Unit 10 Culture Experience in Japan (日本文化体験)
11	Unit 11 Japanese Souvenirs (お土産)
12	Unit 12 Dealing with Health Problems and Emergencies (けがや病気の対応)
13	Unit 13 Dealing with complaints and Accidents (クレームやアクシデントの対応)
14	Unit Upon Departure (帰国に際して)
15	試験

成績評価の方法	毎回の授業中に行うアクティビティーに対する評価と学期末試験の結果を総合して評価します。
---------	---

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)	
----------------------	--

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
筆記用具	

配付資料	
------	--

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッション総合科		2020年度	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択 B	ファッション英会話	講義	宇治田紀子	2

授業の到達目標	初級から中級レベルの受講者を対象とし、主にお店での接客のために必要な基本表現を身につけることを目指します。 簡単な英語であっても必要な情報をしっかり相手に伝えられるようになるまで繰り返し練習します。
---------	--

授業の内容	まず接客に必要な基本表現を勉強します。その後さまざまな種類のお店での会話を念頭に、客と店員とのやり取りを実際の場面を想定しながら自分たちで会話を作っていきます。日常生活で必要な表現も沢山出て来るので一つ一つ丁寧に解説し、覚えて使えるようにしていきます。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	客を迎える…「いらっしゃいませ」から「ありがとうございました」まで
2	商品の位置、場所の説明
3	洗濯表示…様々な洗濯表示の確認。色、模様、生地を表わす英語
4	お直し…「出す」「つめる」などのお直しにまつわる表現。製図パーツの英語表現
5	商品を勧める…客の予算、好みを尋ねる
6	ギフト包装…客の要望をきく
7	案内…売り場への生き方、道案内の仕方
8	値段…大きな数字の読み方
9	試着…試着の勧め方、求め方
10	交換、返金、返品
11	謝罪…様々な場面における謝罪の仕方
12	苦情処理
13	注文…ファストフード店やレストランでの注文の仕方、注文の取り方
14	病気…病気にまつわる表現、様々な病状の伝え方
15	試験

成績評価の方法
毎回の授業中のアクティビティーと学期末試験の結果を総合して評価します。

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

筆記用具、 A4クリアファイル(プリント整理のため)	プリント配布
-------------------------------	--------

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッション総合科		2020年度	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択 B	ファッショングッズ (アートの思考制作と鑑賞)	実習 実技	浅野純人	1

授業の到達目標	創作活動はもちろん、生活や仕事など人生に有効な考え方「アートの思考」を身に付ける
---------	--

授業の内容	アートの思考を身に付けるための作品制作と鑑賞を学内外で行う。
-------	--------------------------------

回	授業計画 及び 学習の内容
1	オリエンテーション 作品制作のコンセプト立案
2	作品制作①-1
3	作品制作①-2
4	作品制作①-3
5	作品①の鑑賞会 次回作コンセプト立案
6	美術館鑑賞
7	作品制作②-1
8	作品制作②-2
9	作品制作②-3
10	作品②の鑑賞会 次回作コンセプト立案
11	美術館鑑賞
12	作品制作③-1
13	作品制作③-2
14	作品制作③-3
15	作品③の鑑賞会 授業のまとめ

<p>成績評価の方法</p> <p style="text-align: center;">結果としての作品ではなくプロセスを重視する。絵を描く技術の高さは不要。学び吸収する意欲を評価する。</p> <p style="text-align: center;">出席50:作品&レポート50の割合で評価する。</p>

<p>教員の実務経験(企業や団体での実務経験)</p> <p style="text-align: center;">絵画工作系教室主宰、美術教員(高等学校、中高一貫校)、小学校内学童でのアート教室開催、まちづくり系NPO法人</p>
--

<p>授業初日持ち物</p> <p style="text-align: center;">クロッキー帳、筆記用具、色鉛筆</p>	<p>学校で準備する教材など</p> <p style="text-align: center;">美術展チケット</p>
--	--

<p>配付資料</p>

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	ファッション総合科		2020年度	1年 後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択 B	ニット・手芸	実習 実技	矢嶋 久美子	1

授業の到達目標	手芸基礎知識及び技法、名称の習得 手編みの基礎知識及び技法、名称の習得
---------	--

授業の内容	デザインの一部として取り入れられるフランス刺繍・ドロンワーク・スモッキングなどの基礎知識、ニッティング(手編み)鉤針・棒針・アフガン編みの基礎知識及び技法、名称の習得手芸またはニッティングを用いてオリジナル作品を作成する
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	手芸 フランス刺繍基礎刺し ドロンワーク・スモッキング 説明
2	↓
3	
4	↓
5	ニッティング 基礎編み かぎ編み 棒針編み アフガン編み
6	
7	
8	
9	
10	
11	↓
12	自由作品 刺繍・スモッキング・ドロンワーク ・かぎ編み・棒針 など
13	
14	
15	↓

成績評価の方法	: 提出課題(パターン、作品、部分縫いなど)の評価 出席状況
---------	--------------------------------

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物 部分縫いテキスト 刺しゅう糸(2~3色) 糸きりばさみ 筆記用具 A4ファイル	学校で準備する教材など
--	-------------

配付資料 プリント配布
